上半期の欺瞞の決算表を以て吾々断じて否と云ひ得る　故に我々は工場主に
欠損させぬ様にするからと固く嘆じたが頑として応せぬ　そして曰く
タヾ働いて貰っても合はぬと　と　吾々は次に左の方法を提案したら
之れも不承知だ
「職工全員として工場主に不償給料を支拂ふし
かくの如き工場閉鎖の真意は何か労働組合組織なきルンペンを寄せ集め都合
のよい話文を何故し入承させ思ふまゝの搾取強奪をせんとする野望なのだ
吾々は自己の生存権と社会正義の確立の為に飽く迄斗争と今日に諸君の
絶大なる声援を切望する
七、八、七、
総同盟　田中争議団

昭. 8.24
4192

常務理事
労働課長
常務監督

労秘第二六二〇號
昭和七年八月十九日
警視総監　藤沼庄平

内務大臣　山本達雄殿
社會局長官殿
埼玉縣知事殿

田中友禅工場ノ労働争議ニ関スル件（第三報）

（事業主側ハ特種ノ対策ナシ）
要旨　争議団側ハ事業主ノ取引先及親戚等ヲ動カシテ有利解決ノ進展ヲ圖ラントシ策ニ居ルモ不穏ノ行動ナシ

標記労働争議ハ其ノ後ノ経過左記ノ通

記